

仲間と一諸にラッセルした尾根を
吹雪に吹かれて、アイゼンならして歩いた稜線を
下山の時、仲間とふりかえり見た時
ぼくの心の中に燃え上がるもの
それが山です。
ガンバリ歩く仲間の顔に光った汗を
クラックの中に小さく咲いた花の水滴に映ったあの大きな青空を
思い出し見た時

ぼくの心に燃え上がるもの
それが山です。
重い荷物に苦しんだあの時
やっとの思いで荷を上げたあの日を
思い出し見た時
ぼくの心に燃え上がるもの
それが山です。

アタック終えて帰ったテントの仲間の握手に、なみだ流したあの時
仲間と肩くみ合って、喜び合ったあの日を
語り合うその時
ぼくの心に燃え上がるもの
それが山です。

星空の下で、飲みあかしたあの仲間の顔
暗いテントの中で話し込んだあの時を
思い出し見た時
ぼくの心に燃え上がるもの
それが山です。